

2008年3月期(第63期) 決算説明会

2008年6月2日

リバーエレクトック株式会社
(JASDAQ・6666)

会社概要



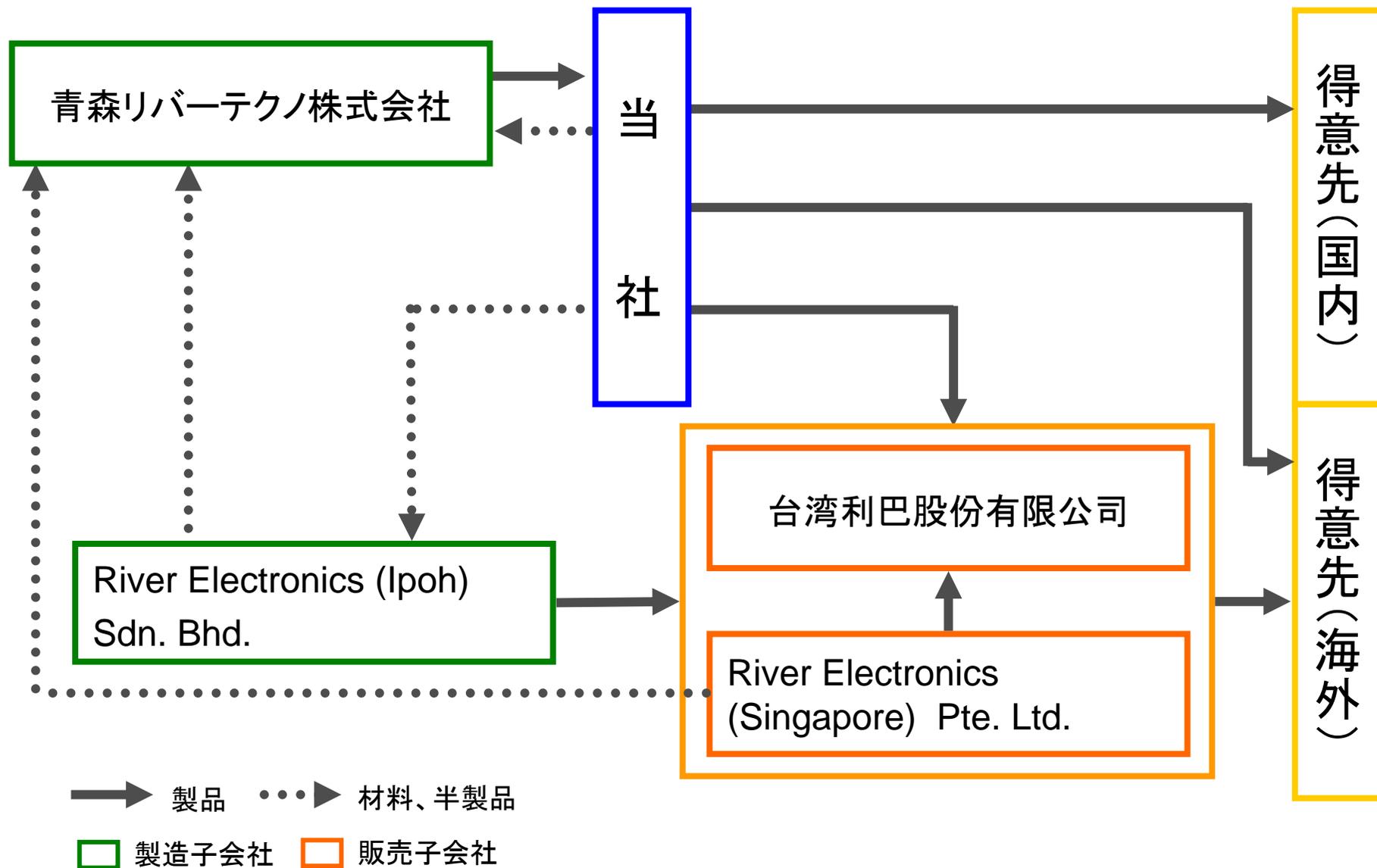
会社概要（2008年3月末現在）

- 社 名 : リバーエレクトック株式会社
- 所 在 地 : 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1-11
- 設 立 : 1951年3月9日
- 事 業 内 容 : 電子部品の製造販売
- 資 本 金 : 1,070百万円
- 単 元 株 式 数 : 100株
- 売 上 高 : 9,287百万円 / 8,567百万円 (連 / 単、2008年3月期)
- 経 常 利 益 : 998百万円 / 843百万円 (連 / 単、2008年3月期)
- 社 員 : 845人 / 121人 (連 / 単、臨時・派遣を含む)
- グループ会社 : 青森リバーテクノ株式会社
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.
台湾利巴股份有限公司

当社グループの事業の内容（2008年3月末現在）



事業系統図 (2008年3月末現在)



当社グループは水晶振動子と水晶発振器に
製品を絞り込んでいる



※ は当社グループで製造・販売をしている水晶デバイス

※ SMD: Surface Mount Device

2008年3月期決算概要



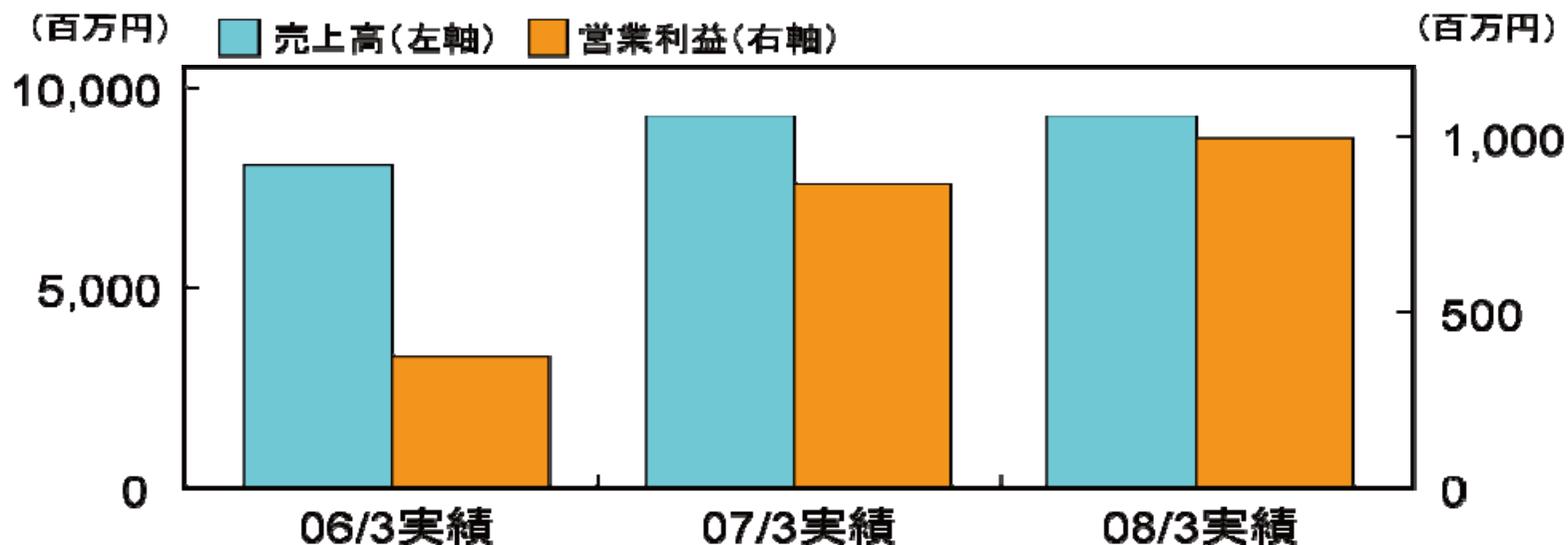
■ 連結

- 第4四半期において水晶製品の携帯電話向けの受注落ち込みがあったものの、超小型製品の受注が好調。
- 売上高は9,287百万円(前期比+0.4%)と微増
- 営業利益は992百万円(同+15.1%)、
当期純利益は588百万円(同+17.9%)の増益

■ トピックス

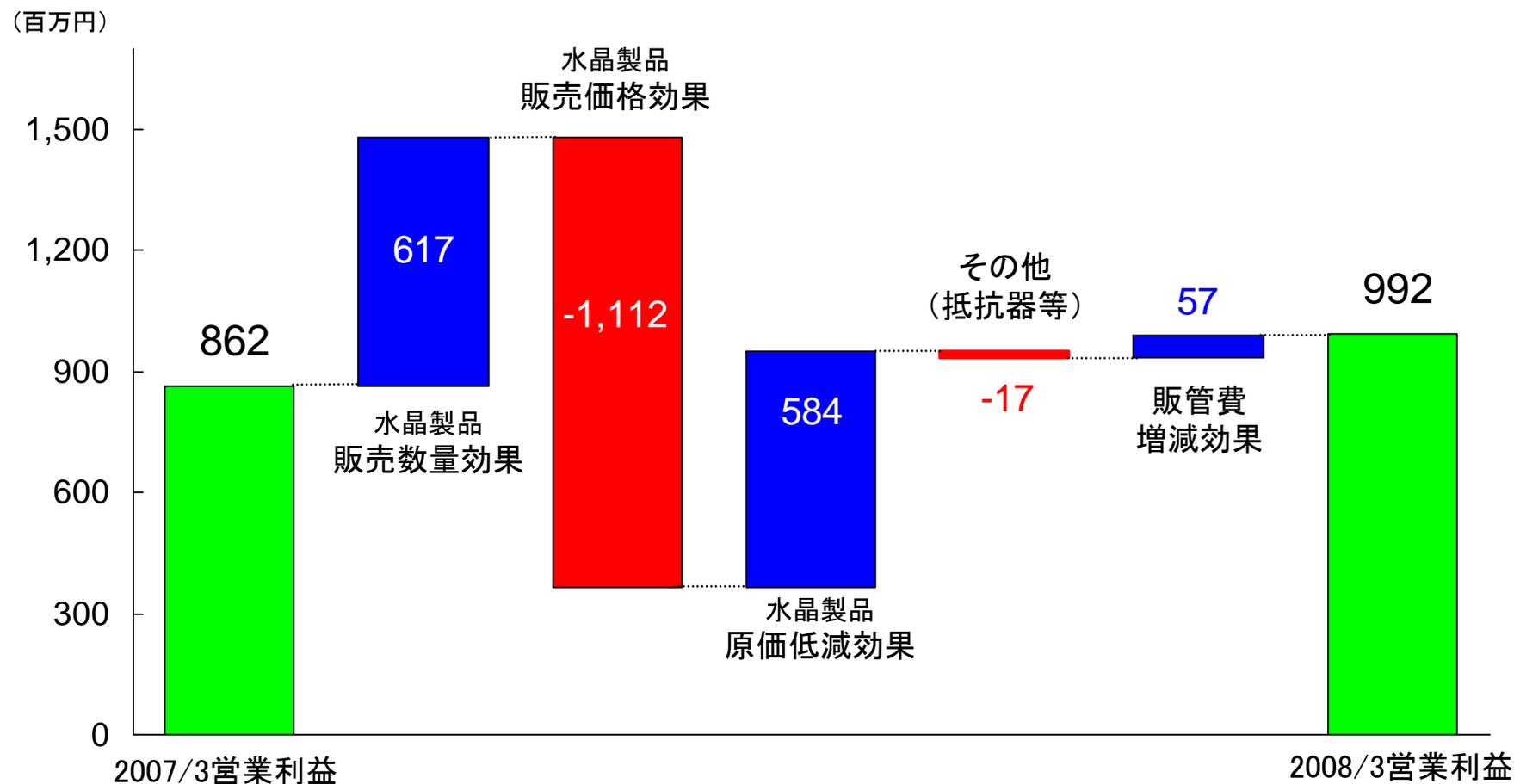
- 水晶製品売上高は8,610百万円(前期比+0.9%)
- 超小型水晶振動子FCX-06の売上数量が前期比+138%の大幅増
- 水晶製品における音叉型水晶振動子の売上比率が上昇、
2008年3月には世界最小クラスとなる『TFX-03』を開発

売上高及び営業利益



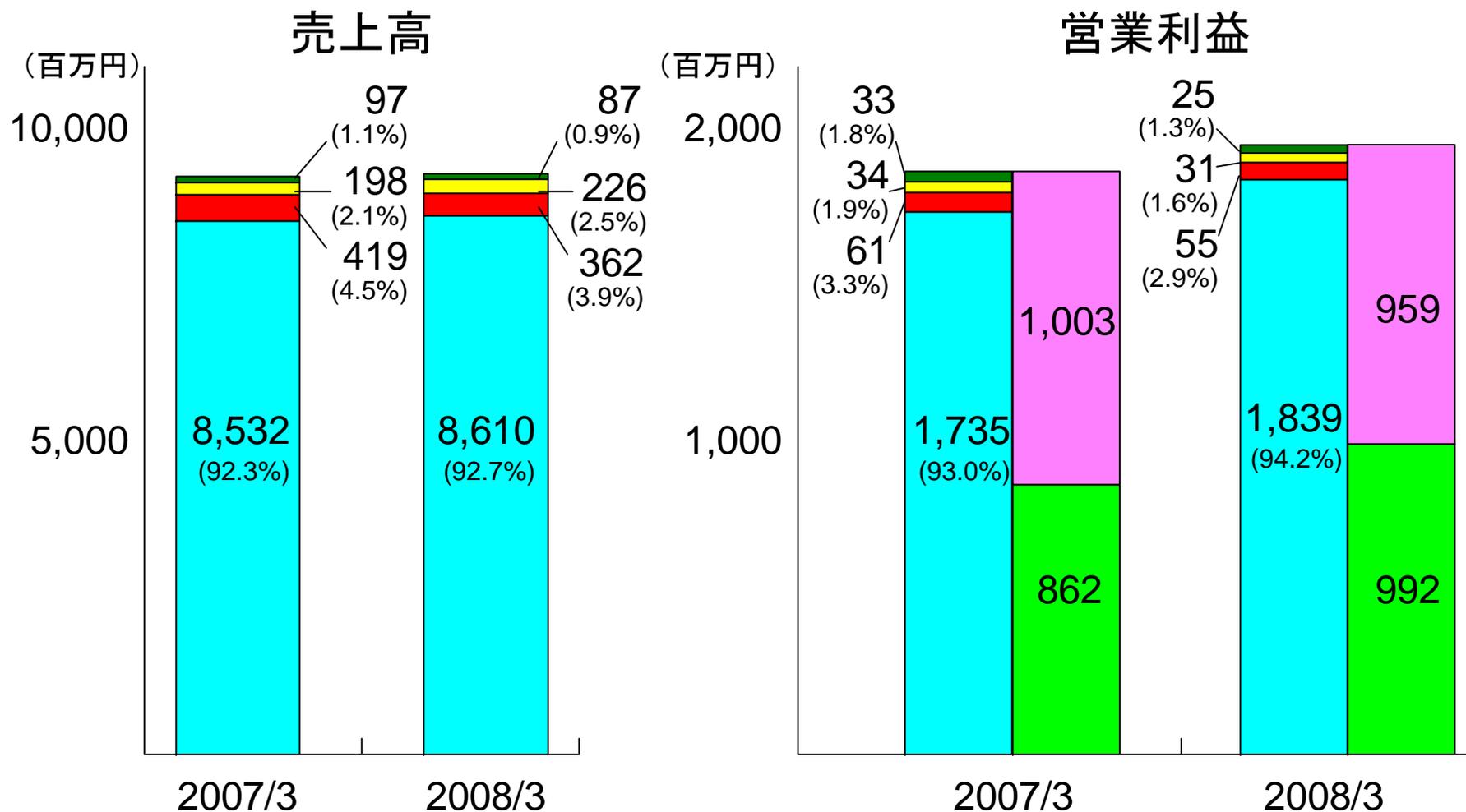
(百万円)	2007/3実績		2008/3実績			2008/3計画		達成率 (対計画)
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比	
売上高	9,248	100.0	9,287	100.0	+0.4%	10,019	100.0	92.7%
売上総利益	2,623	28.4	2,695	29.0	+2.8%	2,933	24.2	91.9%
営業利益	862	9.3	992	10.7	+15.1%	1,077	10.7	92.2%
経常利益	890	9.6	998	10.8	+12.2%	1,071	10.7	93.2%
当期純利益	498	5.4	588	6.3	+17.9%	635	6.3	92.5%

小型水晶製品の受注増による効果大きい
水晶価格の落ち幅が大きい、下落率はほぼ想定内



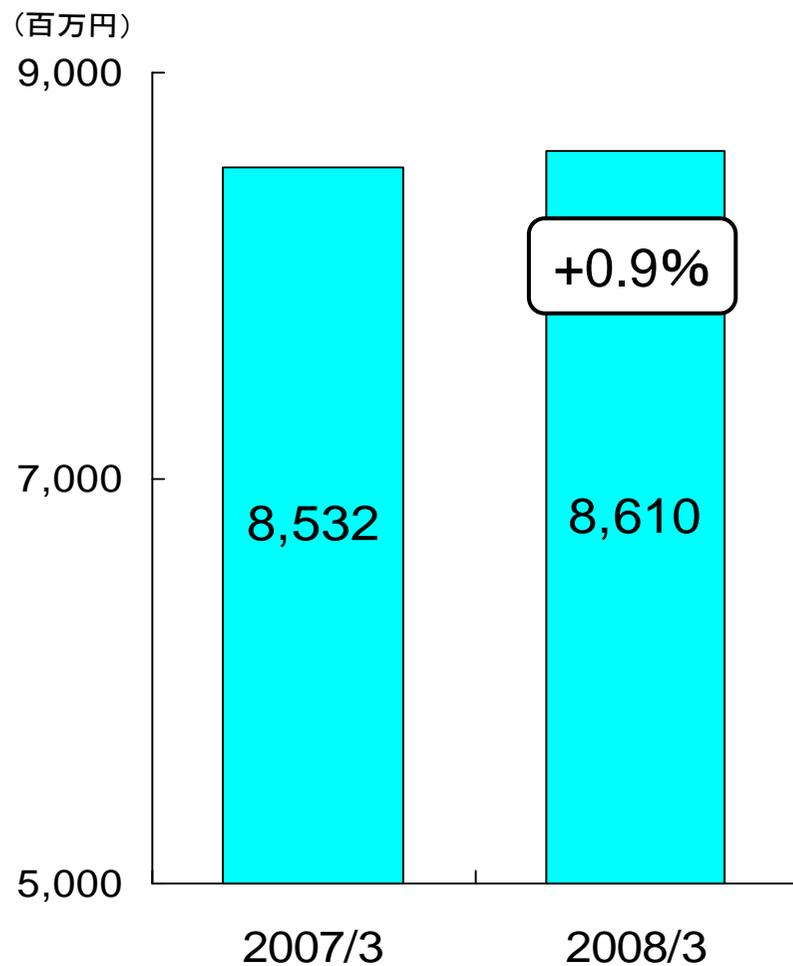
事業の種類別セグメント情報

■ 水晶製品 ■ 抵抗器 ■ インダクタ
■ その他 ■ 全社・消去 ■ 連結営業利益 ()は構成比

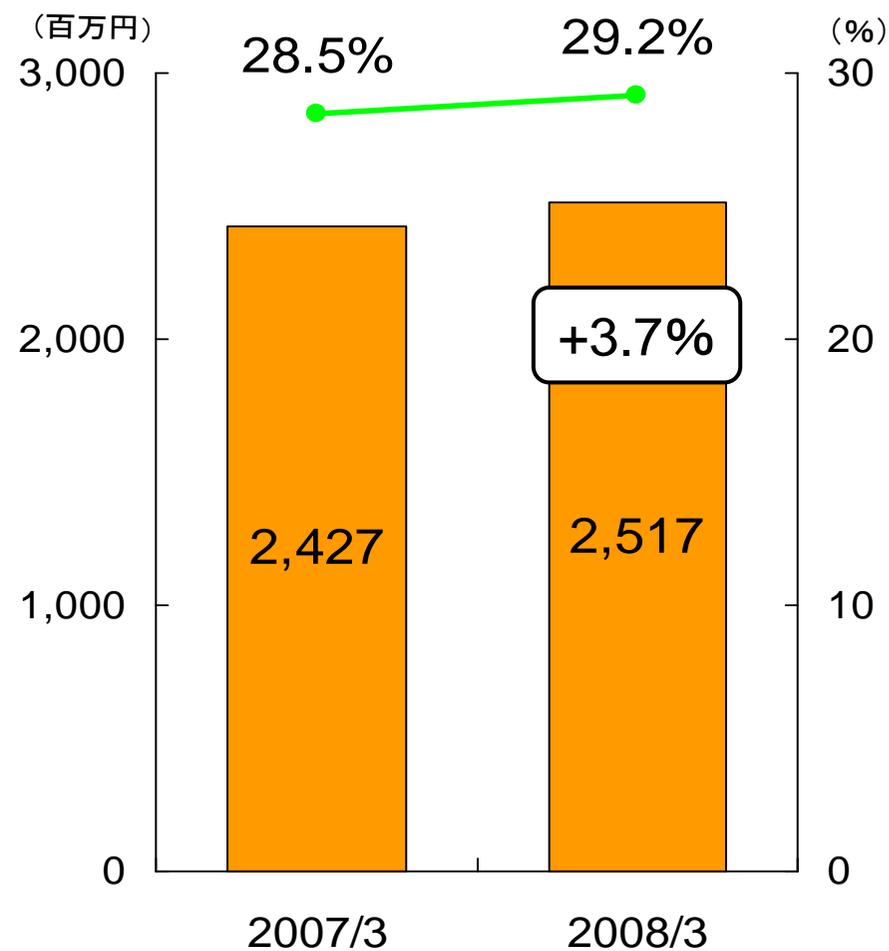


□ は対前期増減率

売上高



売上総利益(率)



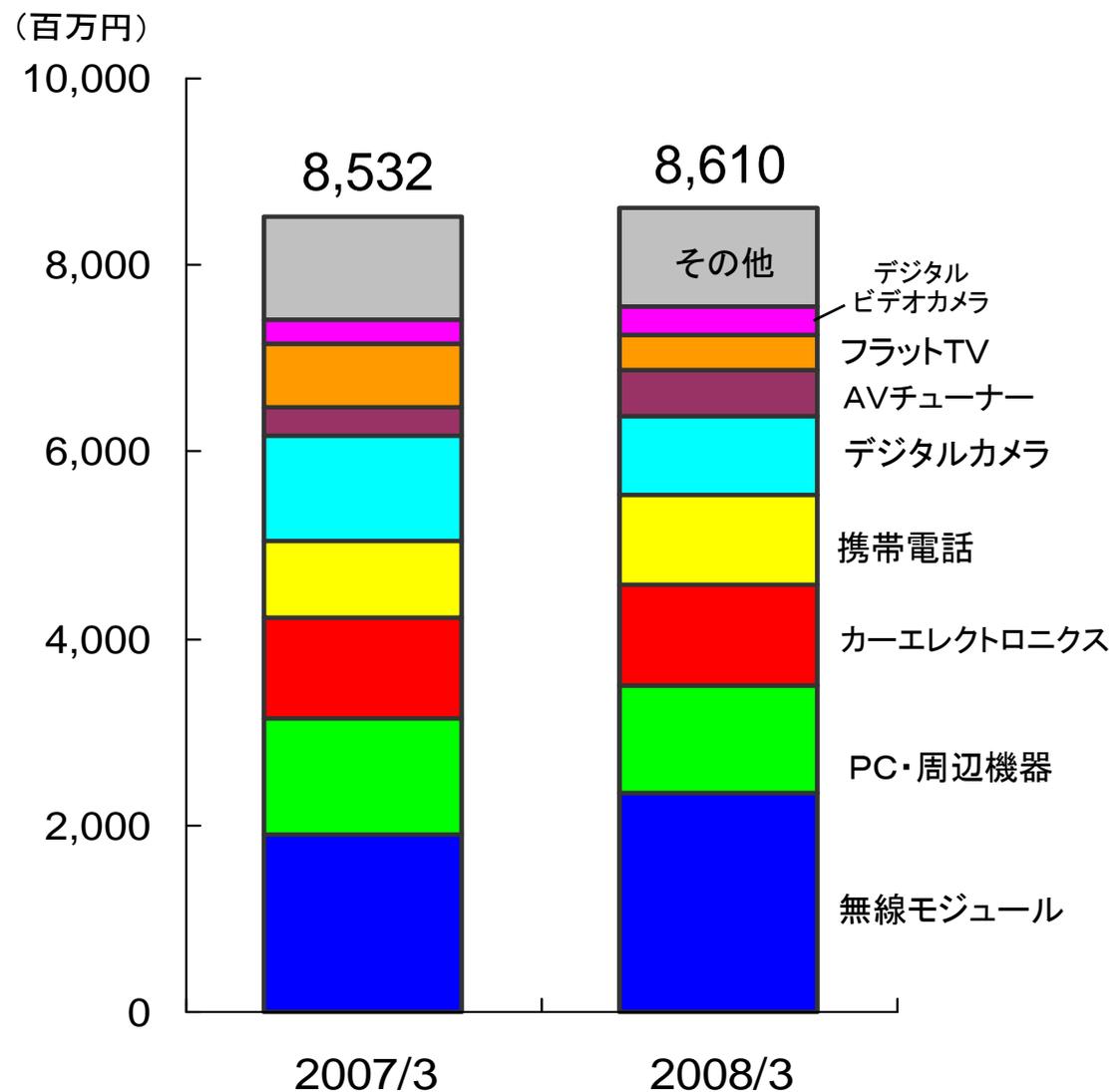
水晶製品アプリケーション別売上高

■ 無線モジュール向けが好調を継続

■ 携帯電話、AVチューナー向けが前期比+17%、+52%と好調

売上高構成比

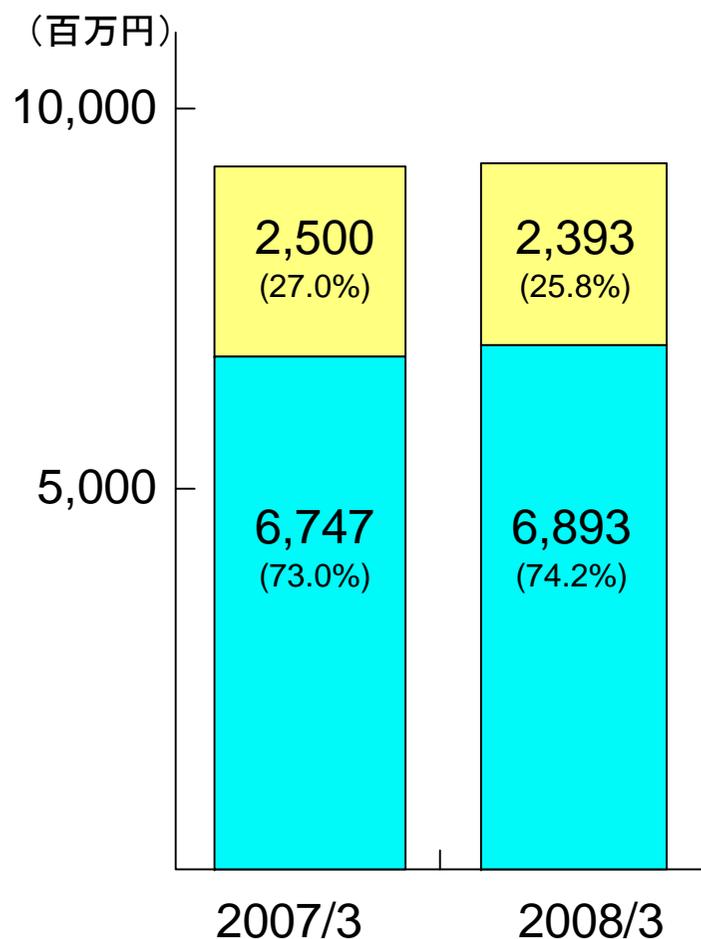
	2007/3	2008/3
無線モジュール	22.3%	27.2%
PC・周辺機器	14.6%	13.4%
カーエレクトロニクス	12.5%	12.4%
携帯電話	9.7%	11.3%
デジタルカメラ	13.2%	9.9%
AVチューナー	3.8%	5.7%
フラットTV	7.8%	4.5%
デジタルビデオカメラ	3.2%	3.5%
その他	12.9%	12.1%



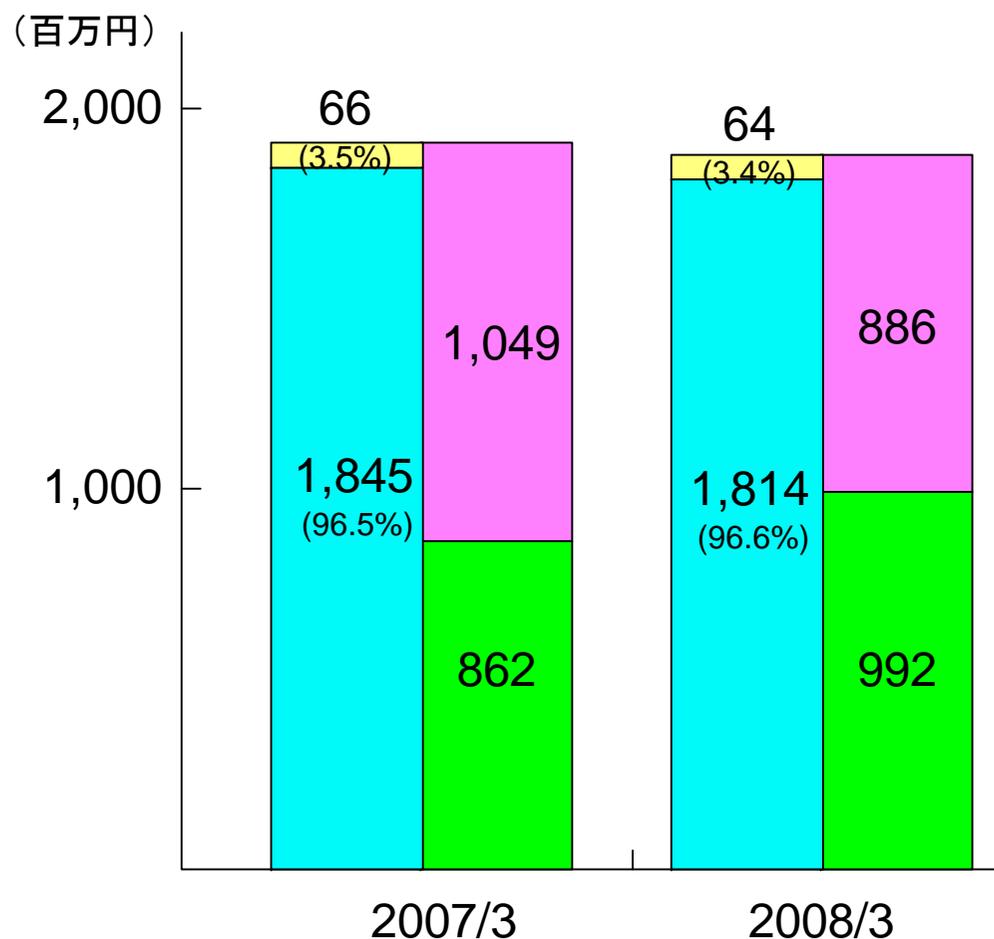
所在地別セグメント情報

- アジア(台湾、シンガポール)
- 日本(当社)
- 全社・消去
- 連結営業利益 ()は構成比

売上高



営業利益

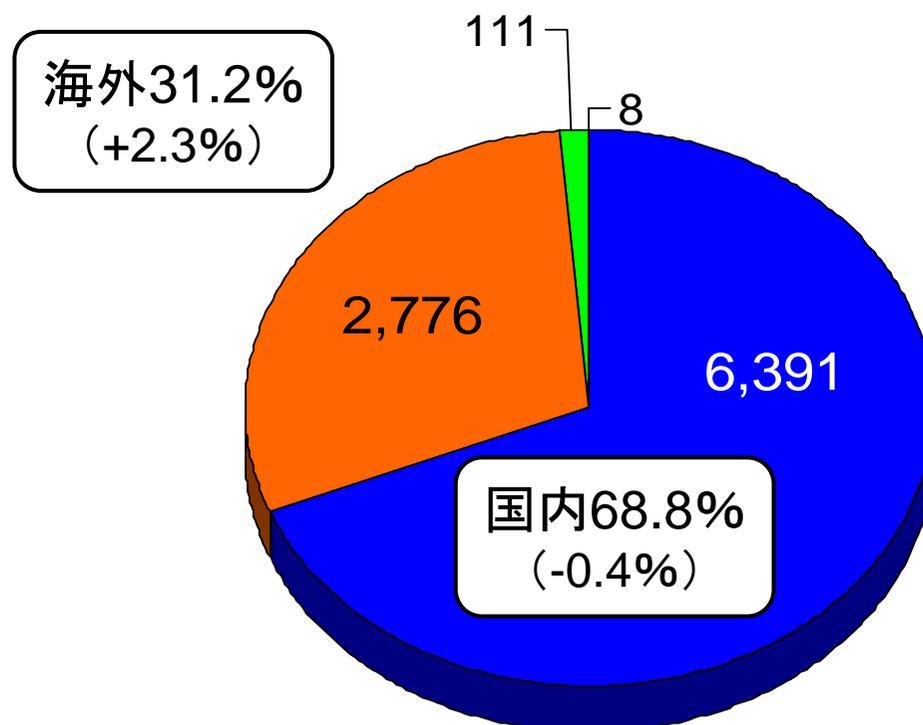
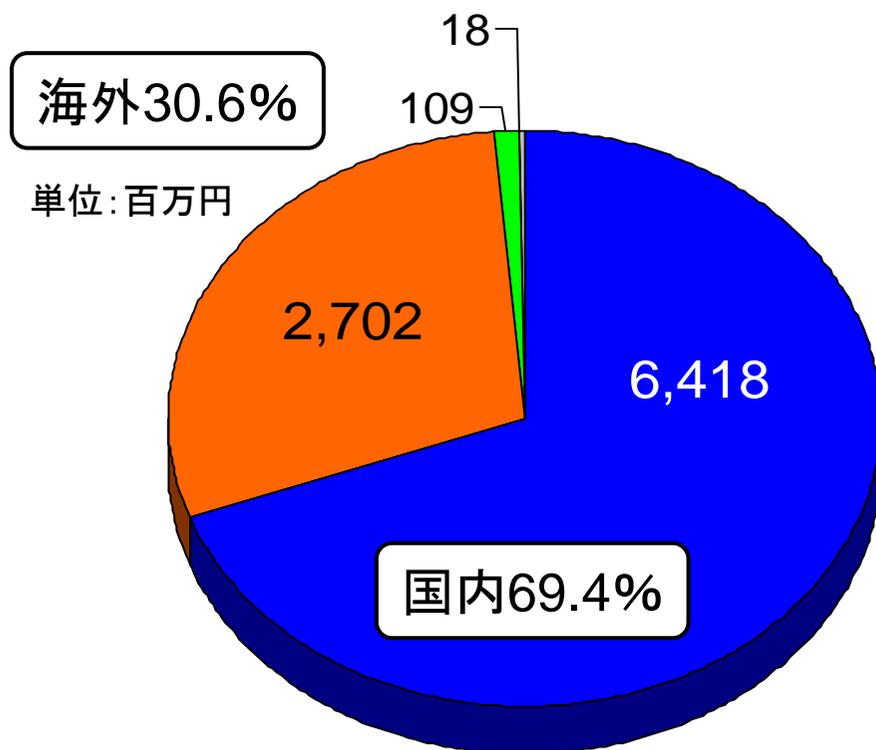


2007/3

2008/3

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

■ 日本 ■ アジア ■ 北米 ■ その他

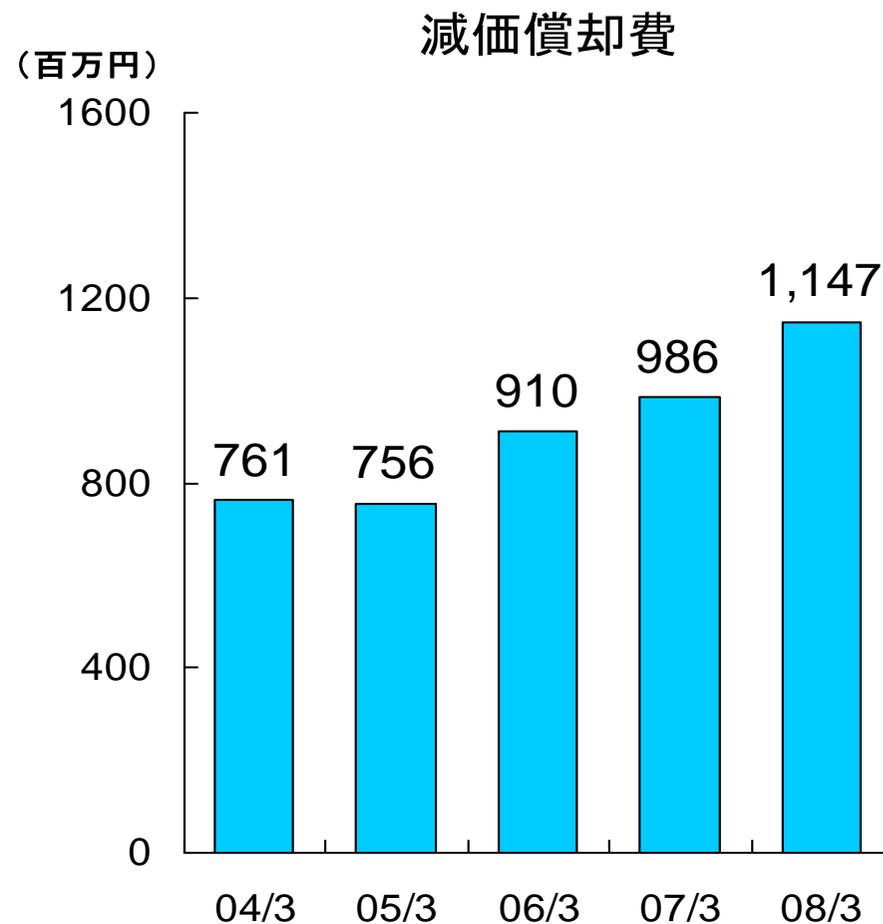
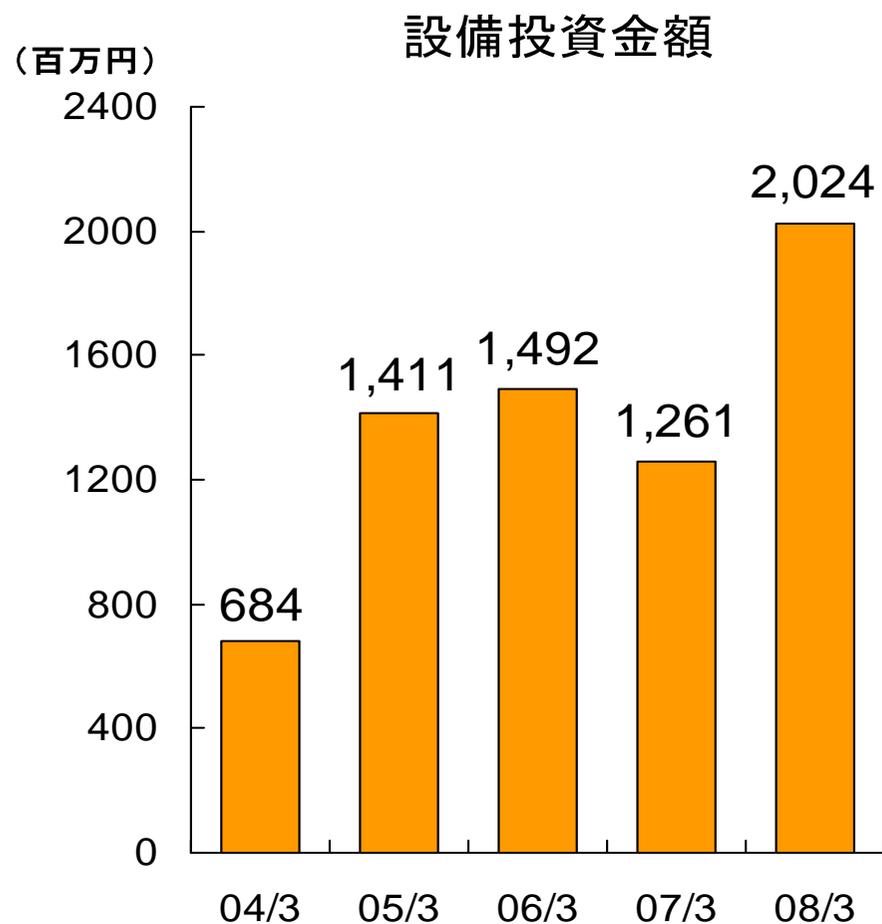


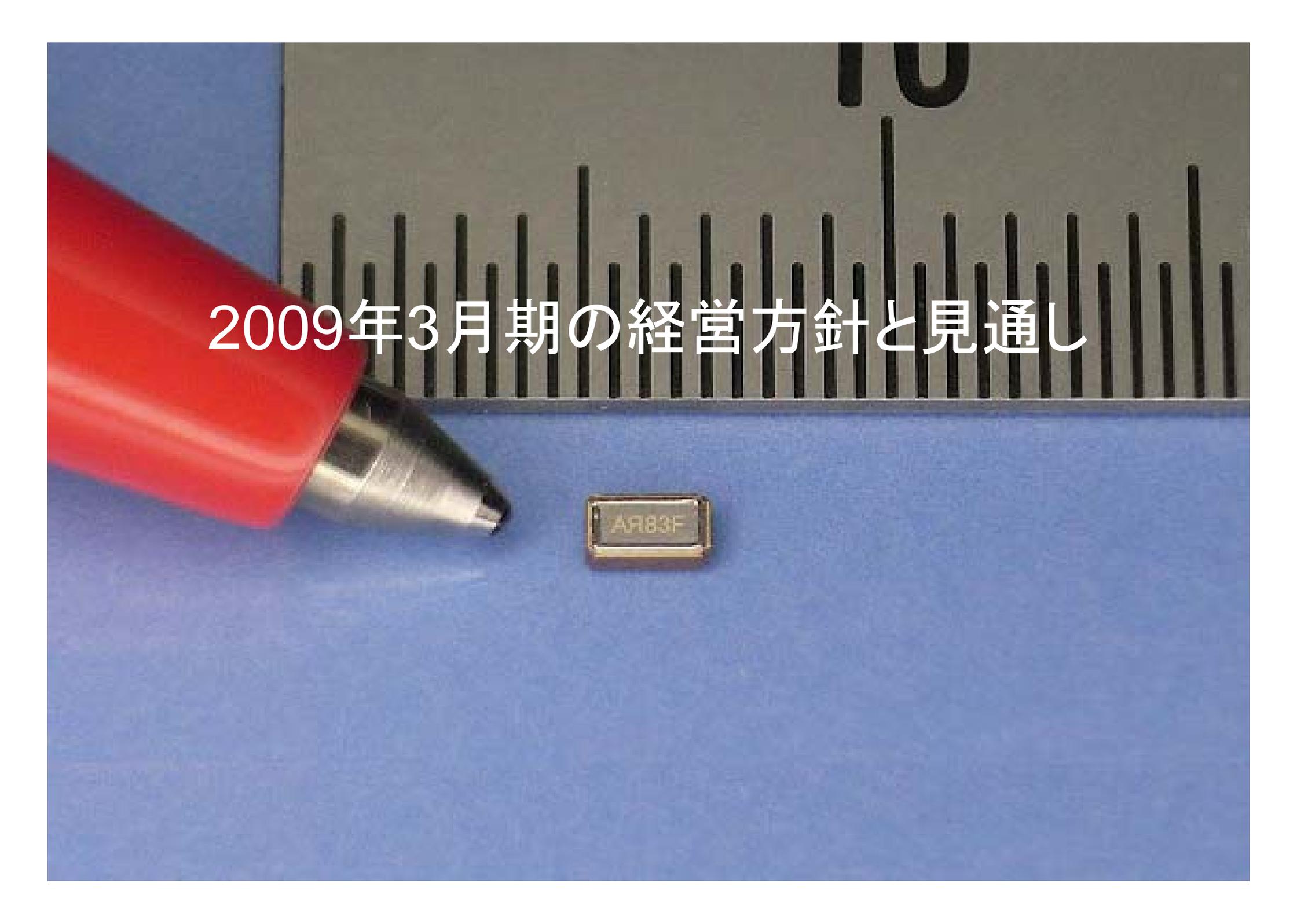
構成比
(前期売上高増減率)

連結貸借対照表

(百万円)	2007/3	2008/3	増減額	増減要因
流動資産	6,514	5,185	△1,328	現預金-964、売上債権-461
固定資産	6,544	7,289	744	機械装置+647、建設仮勘定+205、 土地-72
資産合計	13,059	12,474	△584	
流動負債	3,824	3,113	△711	支払債務-154、1年内長借-102、未 払法人税等-198
固定負債	917	675	△242	長期借入金-255
負債合計	4,741	3,788	△953	
純資産合計	8,317	8,685	368	利益剰余金+419
負債純資産合計	13,059	12,474	△584	
自己資本	7,980	8,345	399	
ROE	6.4%	7.2%	0.8pt	
設備投資額	1,261	2,024	763	水晶製品生産設備及びクリーン ルームの増設
減価償却費	986	1,147	161	
有利子負債	1,777	1,376	△400	

超小型水晶振動子の生産設備を中心に 積極的な設備投資を実施

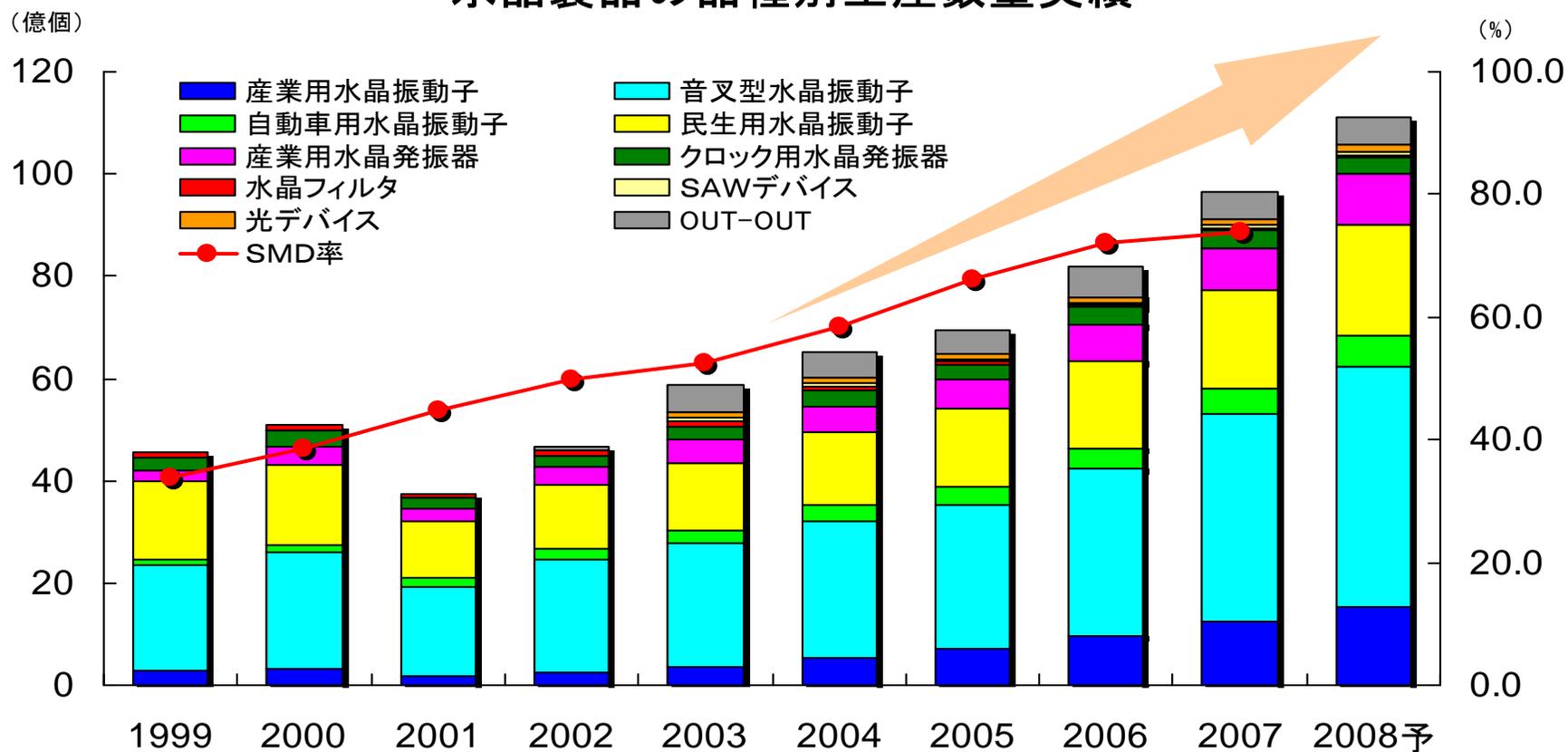


A photograph of a red pen, a ruler, and a small metal component on a blue surface. The red pen is on the left, pointing towards the center. The ruler is at the top, showing markings. The small metal component is in the center, with the text 'AR83F' visible on it. The background is a blue surface with some faint text.

2009年3月期の経営方針と見通し

生産数量は堅調 100億個台に
2008年度予測111億個(前期比115.0%)

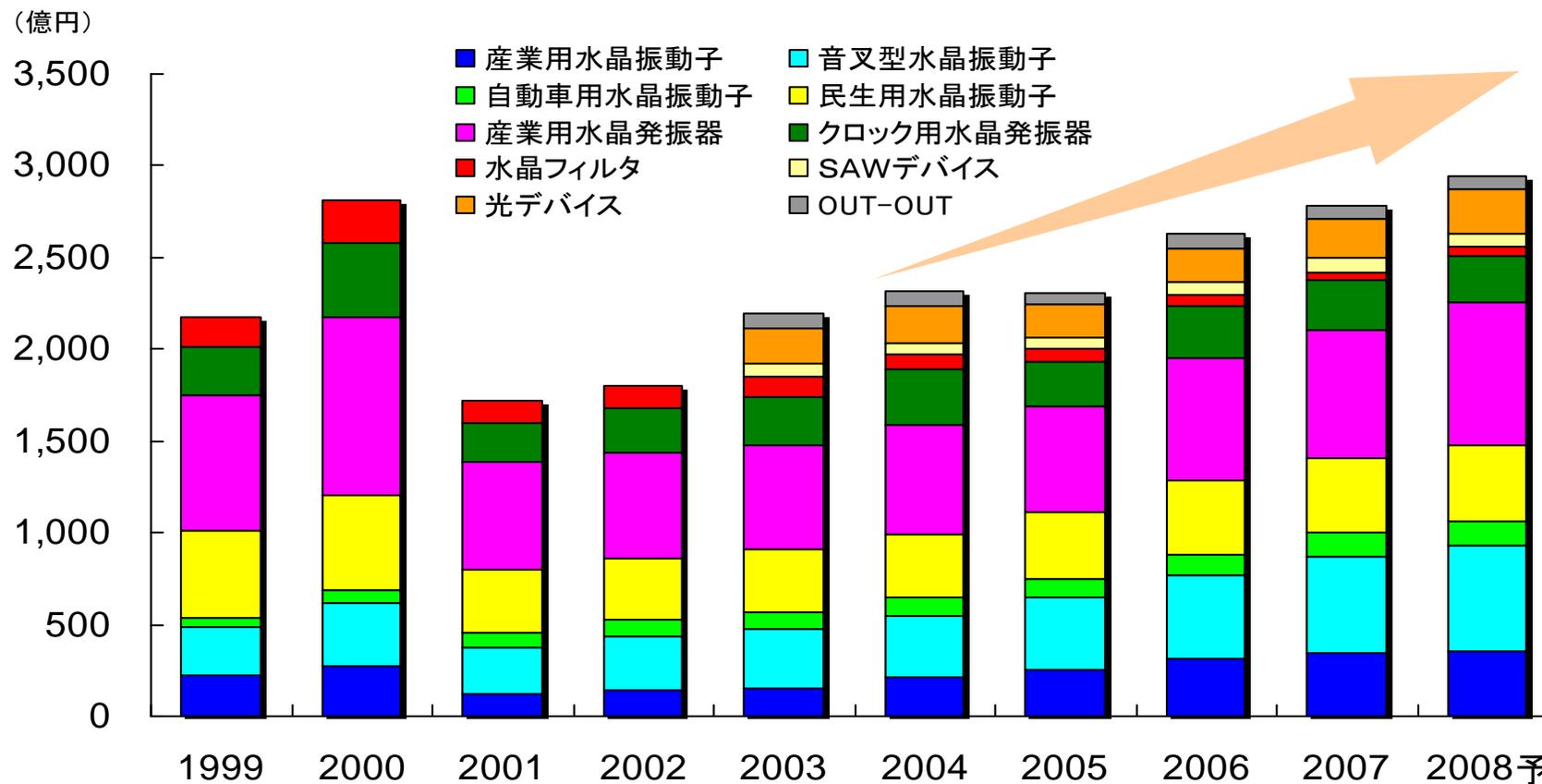
水晶製品の品種別生産数量実績



(注) 日本水晶デバイス工業会資料より。

昨年度に引き続き、価格下落が厳しい
2008年度予測2,943億円(前期比105.7%)

水晶製品の品種別生産金額実績



(注) 日本水晶デバイス工業会資料より。

第2次中期3ヵ年計画(RIVER VISION 2011)を策定

高付加価値企業の実現

源流・創価・革新の追求

2011/3期の定量的目標

売上高営業利益率: 13%以上

ROE: 10%以上

顧客の満足と信頼の獲得

事業変革による持続的な成長

独創的発想による価値の創造

■ 営業体制強化戦略

■ 提案型技術営業力の強化

商品開発本部に新たに商品技術部を新設
より技術的営業サポートを明確に！

■ 組織的な顧客対応力の向上

製品情報、営業情報等を共有化し、
顧客に対するレスポンス、スピード力を向上させる

顧客満足を追求し、モノを売る仕組みを強化する

■ 高品質戦略

設計における「品質つくり込み」

デザインレビューの徹底

製造における「品質つくり込み」

工程内での品質管理を徹底

クレームゼロへの挑戦

高品質を追求し、リバーブランドを強化する

■ 新価値創造戦略

当社グループの強みである

製品の

小型化・薄型化

を追求

電子ビーム封止工法等の
コア技術の進化

産学連携への
取組みを強化

**製品の優位性を確保し、
成長性と収益性の向上を図る**

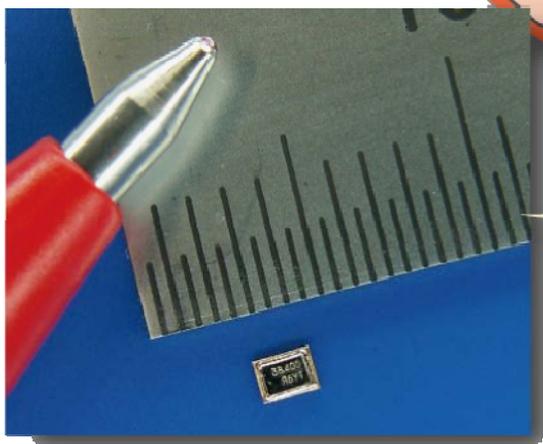
■ **成長ドライバー**



世界最小超小型
水晶振動子

FCX-07L NEW

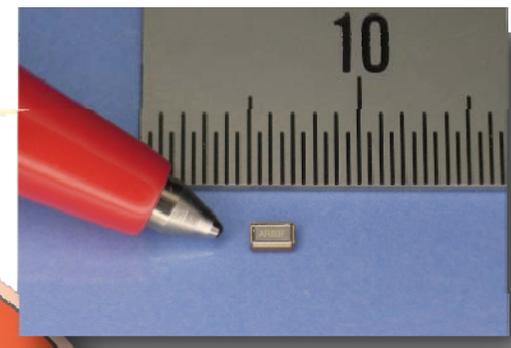
(1.6×1.2×0.35mm Max.)



世界最小超小型
音叉型水晶振動子

TFX-03 NEW

(2.0×1.2×0.6mm Max.)



**携帯機器マーケットの
シェア拡大を狙う**

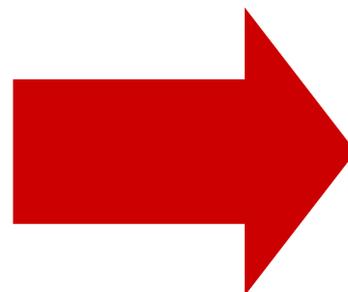
事業変革による持続的な成長①

■ 事業強化・拡大戦略①

■ 海外市場の販売網の強化



2008/3期



2011/3期

**中国、韓国などのアジア市場を
中心とした拡販により、海外シェアを拡大する**

■ 事業強化・拡大戦略②

■ 低コスト生産の追求

生産設備能力向上等により、生産効率を高める

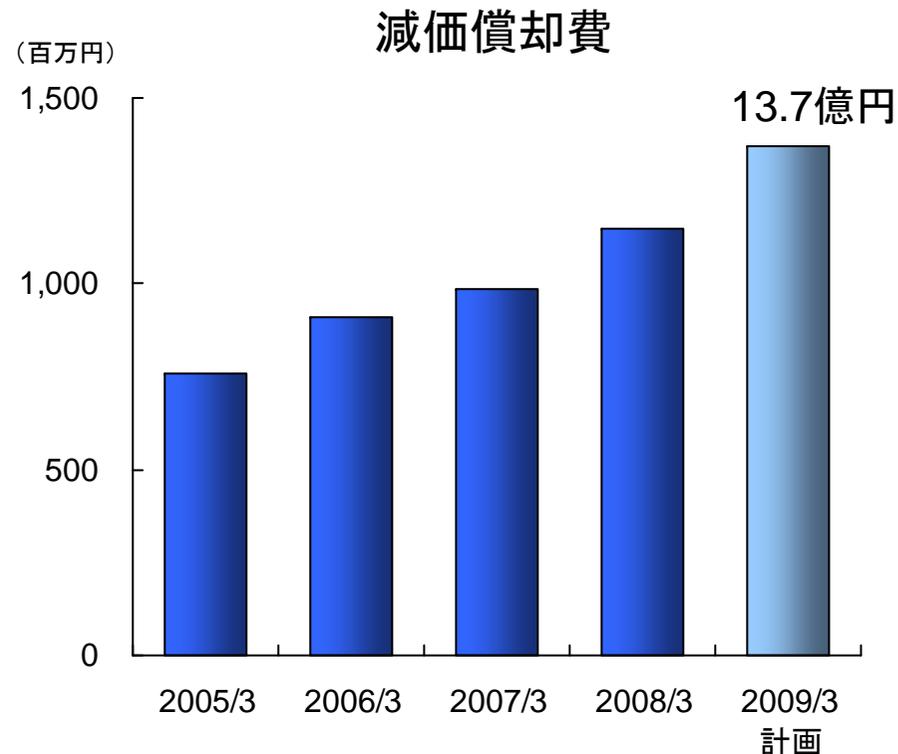
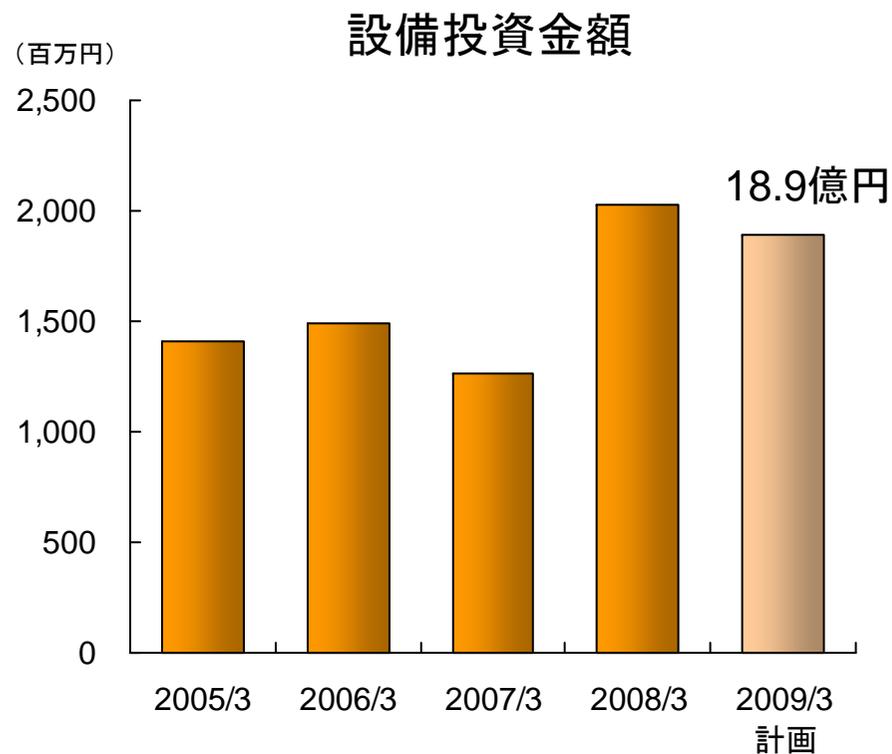
各グループ会社の特性を生かした生産体制の最適化を図る

設備・人員当たりの生産数をアップ

**常に最適化に取り組み、
生産性（付加価値）の向上を目指す**

■ 投資計画

■ 需要動向を見極め、効果的な投資を実施



2009年3月期の見通し(連結)

(百万円)	2008/3 通期	2009/3 第2四半期累計	2009/3 通期
売上高	9,287	4,220	9,254
営業利益	992	22	493
経常利益	998	12	466
当期純利益	588	12	243
1株当たり当期純利益	78円51銭	1円65銭	32円47銭

計画為替レート US\$ = 105円

為替影響額(円高)は、売上高 - 16百万円/1円、営業利益 - 10百万円/1円

- 長期安定的な企業価値向上によって、安定的な配当を継続的に行うことと、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案して利益還元。

	中間期末	期末	年間	配当性向
2007年3月期	—	15.00円	15.00円	22.5%
2008年3月期(予定)	7.50円	7.50円	15.00円	19.1%
2009年3月期(予想)	7.50円	7.50円	15.00円	46.2%

One and Only Creator
RIVER

このプレゼンテーション資料には、2008年6月2日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。